保護者全体会で陰山英男さんが講演

新河岸小

4月23日、令和8年度の保護者全体会で『百マス計算』で有名な陰山英男さんを招き、『集中反復学習』について講演が行われた。

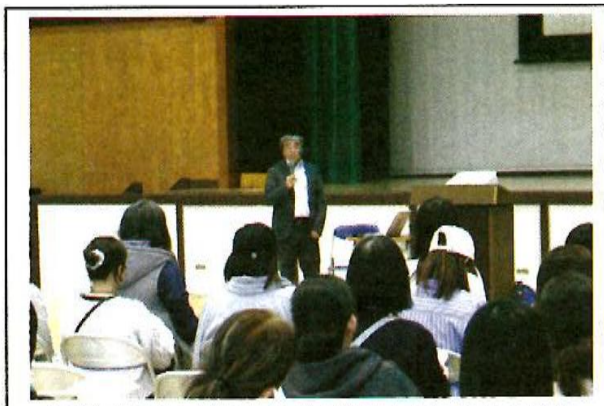
同校では昨年、『子ども食堂』の場所提供を実施したところ、遅刻者がほとんどいなくなった。これを受けて今度は学力向上を目指そうと、陰山さんの『集中反復学習』を取り入れる。

陰山さんはここに至った経緯や、この学習方法はどういったものか、なぜ必要か、実際に導入した学校の事例などを説明。

「言語知能を高める」ところに重きを置き、1年間で覚える漢字200文字を4月中の1ヵ月で覚えることを目標とする。言語能力が高まることにより社会・理科などにも影響が出るという。

また、「6年生には全員英検3級に挑戦してもらう」とも話しており、教員らはすでに授業の進め方などの研修会も実施済み。

同校としては初めての試みとなるが、説明を受けた保護者らも興味深く話を聞いていた。



保護者らに「集中反復学習」について説明をする陰山英男さん

「東京8」で田んぼの土作り

▼新河岸小

4月21日、三園2丁目に本社を置く株式会社太陽油化の社員6人を招き、田んぼの土づくりが行われた。

同社は企業から出る廃油の再生、汚泥処理などを行なっている会社だが、汚泥処理に必要な微生物を使って土壌改良をして穀物の収穫高を上げる『東京8』という商品を生み出し、令和5年には『SDGs推進副本部長(外務大臣)賞』を受賞している。

今年2月に、同校の5年生が社会科見学へ訪問した縁から、同社の無償提供で『東京8』を田んぼに使ってみよう」という流れとなった。

土づくりには、地域の『お米マイスター』も協力。まずは黒土・赤玉土などを児童とともに運んで田んぼに入れ、そこに『東京8』を希釈した水をまいた。

『東京8』には同社の長年の研究から土壌改良に有効とされる、抽出された1500種類の微生物が入っている。「あとは微生物が働いてくれる」と同社社員。昨年は3キログラム収穫できたが今年はどうなるか。収穫が楽しみだ。



「東京8」を水で希釈し、田んぼにまく児童たち（新河岸小）

高島平新聞　第６７１号　令和８年５月１５日刊行